

幹本申7号「2026年3月ダイヤ改正について」 に関する申し入れを行いました！

JR東労組は「2026年3月ダイヤ改正について」の提案を受け、組合員と議論を積み重ねてきました。2026年3月ダイヤ改正では、東北新幹線「はやぶさ」の増発、東北・山形新幹線「つばさ」の所要時間短縮、北陸新幹線「かがやき」の所要時間短縮と首都圏での滞在時間拡大、東北新幹線「やまびこ」の一部列車の運転区間見直しと速達性・利便性・快適性の向上が示されました。

また夜間作業時間帯間合い拡大のための東北・上越新幹線の終電時刻繰り上げは新幹線運行の安全をよりつくり出す施策であり、安全の確保は労使共通の課題です。

新幹線の安全・安定輸送を行うためには組合員・社員の「安全・健康・ゆとり」ある職場と環境が必要と考えます。したがって、乗務に集中できる職場環境とするため、各職場の組合員の声を基に下記の通り会社に対して申し入れを行いました。

1. JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方の実施・施行以降も、箇所体制と担務別行路数、及び乗務キロについて、現行通り各職場ごとの示し方とすること。
2. 出勤予備廃止に伴う変形日勤等の配置方、及び運用について明らかにすること。
3. 各運輸区職場においては、年間休日数の増加、及び年休取得や柔軟な働き方、社員の成長・挑戦に対応できる出面数を確保すること。
4. 仙台駅上りホーム東京方詰所に温水機を設置すること。
5. 女性社員が安心して働けるよう、昨年度の「JR東労組幹本申第5号」申し入れ団体交渉以降の整備状況と計画を明らかにし、女性設備の整備と改善を行うこと。
6. 仙台新幹線運輸区運転士行路は、下記の通りとすること。
 - ①B302行路(便670B～143B)の間合い時間を拡大するため、便670Bのところを便電とすること。
 - ②B307行路(3035B～便66B)にて輸送混乱時に対応できるよう、便66Bのところを便68Bとすること。
7. 仙台新幹線運輸区車掌行路は、下記の通りとすること。
 - ①C2114行路(254B～127B)の間合い時間を拡大すること。
 - ②C2108行路(40B～70B)、及びC21017行路(70B～290B)は円滑な車内サービスを提供していくため、行路途中における仙台駅での乗り継ぎを解消すること。
8. 東京新幹線運輸区運転士の行路は、下記の通りとすること。
 - ①B121行路(692B～279B)の間合い時間を拡大すること。
 - ②B217行路(704C～471C)の間合い時間を拡大すること。

職場からの声で、安全で働きやすい環境の実現を目指そう！！